

令和7（2025）年度 教育相談特別講座

テーマ 子どもの声を生かした不登校の未然防止

～子どもの思いや願いを大切にしたい指導・支援～

本講座では、それぞれ状況や背景等の異なる子どもの思いや願いを「子どもの声」として、それを大切にしたい指導・支援について考えます。

▶期 日	令和7（2025）年7月28日（月）	▶会 場	栃木県総合教育センター					
▶参加対象	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校教職員及び教育関係者							
	9:25 9:30	12:40 13:40(分科会Ⅲは13:30～)	15:55 16:00					
▶日 程	開会 行事	講話Ⅰ	講話Ⅱ	講話Ⅲ	昼食 休憩	分科会 ※Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから1つ選択	まとめ	閉会 行事
	午前受付 9:00～					午後受付 13:10～		

講 話

- I 「学校風土の見える化を生かした不登校の未然防止」
子どもの発達科学研究所副所長・主任研究員 大須賀優子
- II 「どの子どもこぼれ落とさない授業づくり」
岡山大学名誉教授・岡山大学学術研究院教育学域教授（特任） 佐藤 暁
- III 「小児科の診察室から見える不登校」
子どもの虐待防止センター小児科専門医・子どものこころの専門医 山口 有紗

分科会

- I 「学校風土の良さを生かした指導・支援の在り方」
指導・助言 子どもの発達科学研究所副所長・主任研究員 大須賀優子
- II 「教室でできる子どもへのアプローチ」
指導・助言 岡山大学名誉教授・岡山大学学術研究院教育学域教授（特任） 佐藤 暁
- III 「医療的視点から考える子どものウェルビーイング」
指導・助言 子どもの虐待防止センター小児科専門医・子どものこころの専門医 山口 有紗

▶実施方法 会場参加（定員 240 名・先着順）及びオンデマンド（午前中の講話のみ後日動画配信）

▶参加費 無料

※動画配信期間（予定） 8月8日（金）～9月30日（火）

▶申込み 以下の方法によりお申込みください。なお、お申込みの際に、終日・午前・午後・オンデマンドのみ の4つの参加形態からお選びください。

・パソコンから…下記の申込みフォームURLから必要事項を入力

https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2025/tokubetsu_koza.htm

・スマートフォンから…右のQRコードをカメラで読み込み必要事項を入力

（入力にかかる通信料は個人の負担となります。）

▶申込期間 令和7（2025）年6月2日（月）～7月15日（火）



※会場に参加された方もオンデマンド配信の視聴は可能です。視聴方法については後日連絡いたします。

※本講座は、教職5年目研修、中堅教諭等資質向上研修、中堅養護教諭資質向上研修、栄養教職員、教職20年目研修の選択研修として受講することができます。その際は終日でお申し込みください。

※参加希望者が定員を超えた場合には先着順で受講者を決定いたします。各分科会については、第一希望とならない場合があります。

※自然災害等の影響が予想される場合は、総合教育センターWebサイトのトップページに、実施の有無や時間の変更等に関するお知らせを掲載いたします。

子どもたちへの指導・支援の充実に向けて、一緒に学びましょう！



問合せ先 教育相談部 TEL 028-665-7211

講師の紹介

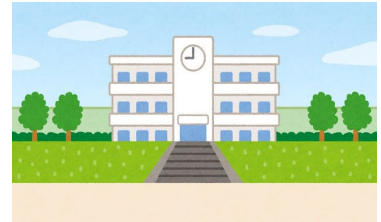
講話Ⅰ・分科会Ⅰ

公益社団法人子どもの発達科学研究所副所長・主任研究員 おおす か ゆうこ 大須賀優子

広島大学学校教育学部卒業。大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所後期博士課程修了。小児発達学博士。

小学校教諭を経て2014年4月から公益社団法人子どもの発達科学研究所主任研究員。浜松医科大学子どものこころの発達研究センター訪問共同研究員。

主な研究に「我が国におけるいじめの実態調査～日本いじめ尺度を利用して～」(投稿中、『児童青年精神医学とその近接領域』)がある。



講話Ⅱ・分科会Ⅱ

岡山大学名誉教授・岡山大学学術研究院教育学域教授(特任) さとう さとる 佐藤 暁

筑波大学第二学群人間学類卒業、同大学院教育研究科修了。博士(学校教育学)。岡山県内をはじめ全国の幼稚園、保育園、小学校、中学校等に巡回相談をおこない、授業改善や教育環境の向上のために教職員への訪問指導を行っている。

著書に、『発達障害のある子の困り感に寄り添う支援』(学研、2004年)、『入門 特別支援学級の学級づくりと授業づくり』(学研、2012年)、『どの子どもこぼれ落とさない授業づくり 45』(岩崎学術出版社、2012年)、『障がいのある子の保育・教育のための実践障がい学』(ミネルヴァ書房、2015年)、『対話と協力を生み出す協同学習』(創元社、2024年)などがある。

講話Ⅲ・分科会Ⅲ

子どもの虐待防止センター 小児科専門医・子どものこころ専門医 やまぐち ありさ 山口 有紗

高校中退後、大学入学資格検定に合格し、立命館大学国際関係学部を卒業、山口大学医学部に編入し、医師免許取得。ジョンス・ホプキンス大学公衆衛生学修士。東京大学医学部附属病院小児科、国立成育医療研究センターこころの診療部などを経て、現在は子どもの虐待防止センターに所属し、地域の児童相談所で相談業務などを行う。

国立成育医療研究センター臨床研究員、内閣官房こども政策の推進に係る有識者会議委員、こども家庭庁アドバイザー。

著書に『子どものウェルビーイングとひびきあう』(明石書店、2024年)、『きょうの診察室』(南山堂、2025年)がある。

